

議会報告
第164号
2025年秋発行

日立市議会だより

日立市議会議員 助川 悟



写真で見る注目の
日立市のNEWS



9月20日に開催された、2025市民生活安全フェスティバル



9月6日から14日まで
開催された、
第61回日立市美術展覧会



7月31日に供用開始となった市道3号線

9月議会

防災体制整備や動物園運営経費の補正予算を計上

令和7年第3回定例議会は9月4日から9月29日まで26日間の日程で開催しました。上程された議案は、令和7年度一般・特別会計補正予算、条例改正、契約関係、人事案件など28件です。委員会で慎重審議の結果、いずれも原案を可決しました。主な議案並びに議会の概要は下記のとおりです。

■予算の特徴

今回の一般会計補正予算は、防災体制整備事業、動物園運営経費、南高野調理場施設整備などで、総額約9億3,000万円余を計上しました。主な事業は次のとおりです。

- ★防災体制整備事業費…………… 1,207万円
全国瞬時警報システム(Jアラート)の配信内容(防災気象情報)変更に伴う新型受信機の整備および物価高騰に伴う簡易型個別受信機の購入費増額
- ★医療福祉費支給事務経費…………… 130万円
マイナ保険証に医療福祉費支給制度(マル福)の受給者証を一体化するための電算システム改修
- ★児童クラブ運営経費…………… 1,188万円
国の要綱改正(補助単価の増額)に伴い、民間児童クラブに対する運営費補助を増額
- ★動物園運営経費…………… 6,259万円
日本動物園水族館協会が定めるガイドラインを踏まえ、チンパンジー屋外放飼場擁壁のかさ上げ工事を実施
- ★南高野調理場施設整備事業…………… 4,210万円
老朽化した南高野調理場の空調設備を改修
- ★学校再編推進事業費…………… 721万円
仲町・中小路・宮田小学校の統合に向けて空調設備を増設するための受変電設備等改修工事に係る実施設計
- ★新交通導入事業費…………… 800万円
大甕駅周辺の一般道にて実施予定の「自動運転社会実装推進事業」に対する市負担金

■主な条例改正

★日立市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の改正に伴い、乳児等通園支援事業の設備および運営に関する基準について条例で定める

★日立市デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の廃止

日立市デイサービスセンター(3施設)を廃止する

■契約案件

★数沢川改修(その1)工事の請負契約の締結

完成期限:令和9年1月31日[金額 5億3,680万円]

■令和6年度決算の認定

★一般会計決算額 歳入860.8億円に対し、歳出821.2億円(一般会計の実質収支は34.1億円の黒字)

■人事案件

★教育委員会委員:小野 智久氏(再任)

★公平委員会委員:會澤 克男氏(再選)

■請願・陳情

★教職員定数改善と義務教育費国庫負担堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願【採択】



トピックス

本定例議会で審議された、日立市の主な取組みをご紹介します。

市道3163号線改良事業

10月工事完了見込み

会瀬小学校の通学路に指定されている市道3163号線は、道路幅員や歩道が狭小であることから、道路の拡幅や歩道の整備を図るため、道路改良を進めていましたが、令和4年度から着手していた工事は、令和7年10月に完了見込みとなりました。



現況写真(中央線側)

日立市立小・中学校等の学期制

令和8年4月から2学期制を導入

助川議員が令和5年12月定例会の一般質問で取り上げた小・中学校の2学期制導入について、本市ではそのメリット・デメリットについてこれまで検討を重ねてきた結果、来年度から2学期制を導入することとなりました。

【2学期制導入による効果】

- ・教育活動時間の確保と効率化
- ・教職員の負担軽減と指導の充実
- ・学習指導と評価の質向上
- ・効果的な進路指導の実施



【対象】市立小・中・義務教育学校、特別支援学校

【実施時期】令和8年4月1日から

マイナ救急実証事業

マイナ保険証を活用し、救急隊が傷病者の医療情報を取得することで、搬送先の適切な選定を可能にし、救急業務の円滑化を図ることを目的とした全国規模の実証事業に本市も参加します。

【実施期間】

令和7年10月1日から全国一斉開始

【期待されるメリット】

- ・病歴や飲んでいる薬を救急隊に正確に伝えることができる。
- ・円滑な搬送先病院の選定や適切な処置が実施できる。
- ・搬送先で治療の事前準備ができる。



日立市も救急業務の円滑化実証事業に参加

本定例議会において、一般質問をおこないました。内容を一部抜粋して掲載いたします。

■関係人口の拡大・創出に向けた取組みについて 〈転出者にアプローチする効果的な情報発信〉

⑨地域に応援者や伝手となり得る転出者は関係人口拡大の鍵であり、あらゆる手法を用いて転出者へアプローチするべきと考えるが、見解を伺う。

⑩関係人口を創出していく上で、地元出身者や転出者は、関係を再構築しやすい大切な存在であり、日立の魅力を発信していただける点でも、関係人口拡大に力を発揮していただけていると考えている。市公式LINE等のSNSや、県人会等の機会を通じて情報をお届けし、関心を維持していただけるよう努めている。

今回、「ひたちファンクラブ」を創設することもあり、ネットワークの中で仲間と再びつながり、日立市との絆を深めていただくことも想定しており、継続的に接点を持つことで、新たな事業や活動への参加につながり、地域貢献へと発展するものと期待している。

■特別支援教育におけるICT環境の整備について

⑨特別支援学級においては、電子黒板を含めたICT環境の整備に大きな遅れが見られる。早急に整備するべきではないかと考えるが、見解を伺う。

⑩特別支援学級における電子黒板については、感覚過敏のある子どもたちにとっては刺激になる場合があり、落ち着いて学習に取り組むことができなくなることも懸念される

一方で、視覚的に訴えかけることによって、理解が深まったり、学習への興味・関心が高まったりする場合もあることから、その必要性も認識している。

特別支援教育の視点からICTをどう活用するかなど、教員の指導力向上に努めるとともに、電子黒板をはじめとする特別支援学級への効果的なICT環境の整備が実現できるよう、引き続き努めていく。



■日立市立小・中学校における体育館への空調設備の整備について

⑨国が創設した「空調設備整備臨時特例交付金」は、制度的に大きな優位性があり、まさに今が制度を活用すべき好機であると考えているが、見解を伺う。

⑩今回の交付金は、従来の「学校施設環境改善交付金」から補助単価の増額が図られているとともに、断熱性確保の要件が大幅に緩和されており、重要な財源であると認識している。現在、導入にかかる整備費やその後の維持管理費、さらには工事期間も含めた効率的かつ効果的な整備方法について調査検討を進めており、今後も、国・県の補助制度等の動向を注視しつつ、引き続き、空調整備の実現に向けて取組んでいく。